

速報 22年度 文部科学省支援プログラム

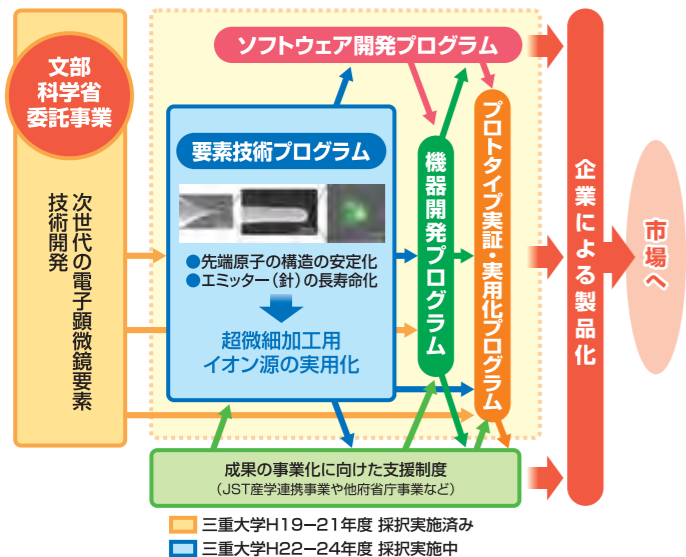
産学イノベーション加速事業 「先端計測分析技術・機器開発」

産学による基礎研究基礎強化や技術開発基盤強化のための研究開発、革新的な基礎研究成果をもとにした大規模な研究開発など、特にイノベーションを加速する効果の高い産学による取組を支援します。

「ナノプローブ形成用 電界電離型ガスイオン源の開発」

本学を代表機関として平成19年度～21年度に実施された文部科学省委託事業「次世代の電子顕微鏡要素技術の開発」の研究成果を進展させ、ナノテクノロジー分野の主力装置である集束イオンビーム装置の飛躍的な性能向上を目指したプログラムです。また、今年度より3年間、民間企業と連携し研究開発を行います。

◎ 先端計測分析機器の事業化に向けたロードマップ ◎



振興調整費

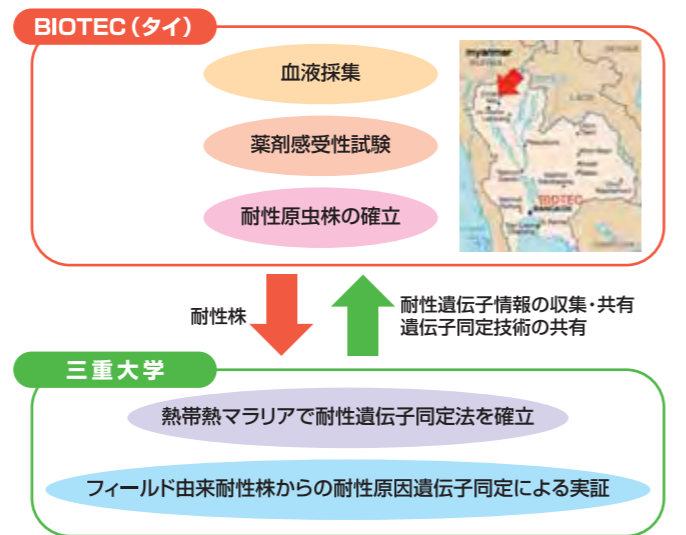
「国際共同研究の推進」

科学技術外交の強化の一環として、アジア・アフリカ諸国等と国際共同研究を実施することを通じて、国際的な科学技術コミュニティを構築するとともに、アジア・アフリカ諸国等の政府レベルでの協力関係の強化・構築を目指します。

「マラリア原虫薬剤耐性 遺伝子を同定する 革新的技術の開発」

マラリアは世界100カ国以上で流行し、年間約3億人の感染者と約100万人の死者を出す世界3大感染症のひとつです。しかしながら、薬剤耐性原虫の世界的な分布拡大によりその対策は極めて困難となっています。本研究は薬剤耐性マラリア原虫の世界的な発生源であるタイ国のマラリア専門家と協力し、各種抗マラリア薬に対する耐性遺伝子を同定する革新的技術を開発することを目的とします。本技術は薬剤耐性マラリア原虫の拡散を防止する強力な手段となると共に、耐性を生じにくい薬剤の開発に繋がることが期待されます。

◎ プロジェクトの概要 ◎



振興調整費

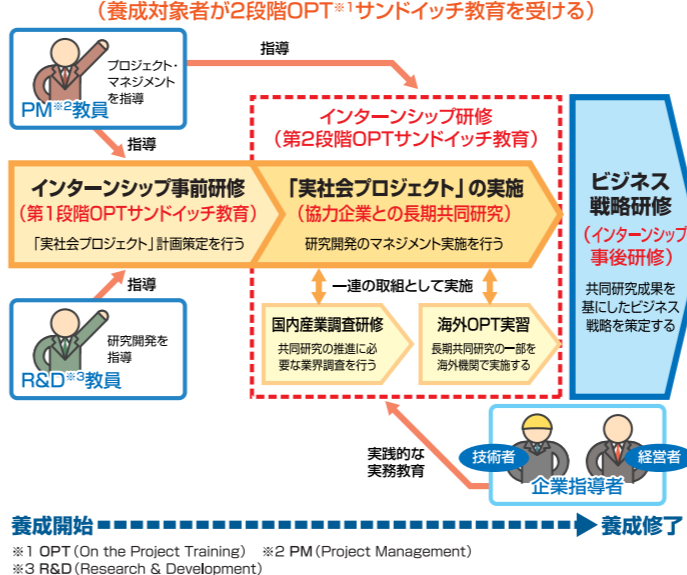
「イノベーション創出若手研究人材養成」

産業界などの実社会のニーズを踏まえた発想や幅広い視野などを身に付けた人材を養成するシステムを構築し、イノベーション創出の中核となる若手人材を輩出します。

「イノベータ養成のための サンドイッチ教育」

このプログラムは、地域イノベーション研究科で今年度から5年間取り組むもので、若手研究者と博士後期課程の大学院生を養成対象とする新たな教育システムを構築し、高度な研究開発能力、プロジェクト・マネジメント能力、グローバル化に対応した国際感覚のすべてを備えた「プロジェクト・マネジメントができる博士人材」を養成し、地域産業界の活性化を牽引するイノベータとして産業社会に送り出すことを目標として実施します。

◎ 教育プログラムの特長 ◎



「大学生の就業力育成支援事業」

本事業は、各大学・短期大学における、産業界等との連携による実学的専門教育を含む、学生の卒業後の社会的・職業的自立に向けた新たな取組を国として支援するものです。

「自他共に成長を目指す 幅広い職業人の養成」

このプログラムは、自他共に成長を目指す社会性と、主体的に学習目標を設定して実践知を獲得する自立性を身につけさせることにより、感性的豊かな職業観・社会観涵養に結びつくキャリア教育プログラムと就業支援体制を構築しようとするものです。本学が全学的に展開してきたPBL(問題発見解決型学習)を基盤に、入学から卒業まで、継続的な自己省察と目標設定を行わせるカリキュラム整備を進めるとともに、学内をアカデミックコミュニティ(自立性と社会性を発揮する実践の舞台)として整備し、教職員と学生が協働で全学的学生支援・就職支援体制を構築します。

◎ 自立性と社会性を育む教育プログラム ◎

